

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	その他専門店 〔陶器〕（製 造）	販売量の動き	・注文数が増えていることと、明らかに目抜き通り近辺 の人通りが増えていることから景気が良くなっていると判断 する。
	◎	観光型ホテル （代表取締役）	来客数の動き	・宿泊の全国旅行支援がスタートし予約が増えてきてい る。客室稼働率も前年が25%のところ、55%まで上がって いる。2019年の82%にはまだ届いていない。料飲部門は、 昼の会議や食事は増えてきているが夜の宴会はまだ増えな い。
	◎	観光名所（職 員）	来客数の動き	・全国旅行支援の開始が影響している。
	○	スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・来客数が上向き傾向にあり、3か月前と比べると2～ 3%伸びているため、少しずつではあるが売上も回復して きている。
	○	スーパー（販売 企画）	単価の動き	・物価の上昇により商品単価が上がってきている。またコ ロナ禍の行動制限が解除されたことで来客数が少し増えて いる。結果売上が3か月前よりは少し良くなっている。
	○	コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少して来客数が 増加している。近隣のホテルの宿泊者数も戻ってきてい る。
	○	コンビニ（副店 長）	来客数の動き	・規制緩和に伴い周辺にもぎわいを取り戻し、前年や今年 の前半と比較しても大幅に伸びている。
	○	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・早速全国旅行支援の効果が表れ始めている。
	○	乗用車販売店 （経理担当）	販売量の動き	・キャンペーンの効果もあるが、受注は順調である。
	○	一般レストラン （代表者）	来客数の動き	・少しずつ観光客も地元客も増えてきている。
	○	その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症に関連する規制がなくなり、 月前半は一気に例年の80%台まで入客が戻ってきたが、中 盤以降値上げ等の影響か、地元客が一気に冷え込んでい る。しかし、観光客が増えてきており、トータルでは例年 並みに推移している。
	○	旅行代理店（マ ネージャー）	販売量の動き	・旅行の間合せや予約は多少増えている。だが全国旅行支 援が邪魔をされていて、入ってくるはずの客が他社やWe b へ流れており悩みどころである。
	○	通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・販売量が前年比85%前後で推移していたが10月は新商品 の発売もあり前年並みの結果である。消費は戻ってきてい る兆しはある。
	□	百貨店（店舗企 画）	販売量の動き	・前年の同月は新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言 が解除となり、その反動で集客が拡大されていたため、本 年は大きく売上伸長とはならずとも、底堅く前年売上をク リアしている。
	□	通信会社（サー ビス担当）	販売量の動き	・景気が上向きとは見受けられない。
	□	住宅販売会社 （代表取締役）	来客数の動き	・現在販売中の分譲マンションや戸建て建売住宅につい て、来場者数が予想より少ない。また、購入希望者に関し ても金融機関での融資審査の承認が得られず契約に至って いない。
	□	住宅販売会社 （役員）	来客数の動き	・営業活動がしやすい環境になり、モデルルームの来場者 数も増加傾向にある。
	▲	商店街（代表 者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症について少しだけ良い兆しが みえるが、まだ全体的には来客数が元に戻らない状況であ る。
	▲	観光型ホテル （企画担当）	販売量の動き	・ホテルの7月の販売室数が前年比340%増加であったのに 対し、10月の販売室数は前年比262%増加と、プラス幅が小 さくなっている。
	×	家電量販店（営 業担当）	来客数の動き	・10月以降に相次いだ商品値上げの影響で、生活防衛意識 が高まり、消費意欲が低迷しているとみられる。
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	食料品製造業 （役員）	受注量や販売量 の動き	・10月も3連休を挟んで観光客の増加がみられ、ホテル及 び土産品向けの売上が好調に推移している。
	○	建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・高額な注文の相談が増えてきている。

\\IT\\部\\	○	会計事務所（所長）	それ以外	・コロナ禍が沈静化し、本県でも観光業に勢いが出てきた印象がある。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・見積り依頼、受注、生産とも大きな変化はないが、原材料の価格高騰により利益率が低下している。
	□	輸送業（経営企画室）	それ以外	・観光客受入れの再開など景気の活発化が期待されるが、円安の影響による物価高騰で消費の減少が予測される。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・求人数は増加している。夏場の求人数より徐々に増えてきている。正社員の中途求人数が以前と比べ多くなっており、現在の増加分となっている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・飲食店、ホテル、小売関係の求人数が増加している。
	□	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人案件は増加傾向にあるが、求職者の動きが鈍く、マッチングにつながらない。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—